

25日調査メモ（常呂川下流部）

調査者

北見工業大学 河川防災システム研究室 渡邊康玄
地盤工学，凍土・土質研究室 川尻峻三
渡邊達也

調査位置



1. 太幌橋の被災状況

太幌川は、常呂川左岸堤防と右岸高水敷に架かる市道の橋梁である。写真 1 は、右岸堤防から太幌橋に向かう高水敷内の道路の状況である。路盤部も含めてアスファルト舗装が浸食を受けている。この箇所は高水敷の低い部分であり、氾濫流の集中によるものと考えられる。写真 2 は、左岸高水敷側の橋台裏が侵食されている状況である。写真 3 は、右岸川の橋台付近から左岸上流方向を撮影したものであり、橋台付近に袋型根固めが施されている。また、写真 4 は、太幌橋から上流左岸を見たものである。左岸の取り付け盛土によって、氾濫流が左岸橋台付近に集中したことが想定される。



写真-1



写真-2



写真-3



写真-4

連絡先

北見工業大学 社会環境工学科 河川防災システム研究室 渡邊康玄

e メール： [y-watanb \(at\) mail.kitami-it.ac.jp](mailto:y-watanb@mail.kitami-it.ac.jp)